

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.26 R. 4. 1 1. 2 5 (金)
文責：山口伸一郎

校内で「秋の読書月間」を実施しています。

11月1日(火)～12月9日(金)の期間、本校では『秋の読書月間』として、重点的に読書活動の推進を行っています。10月27日(木)～11月9日(水)の期間が全国読書週間でしたが、それを受けての取組となっています。

本校では、日頃から子どもたちが積極的に本に触れる機会をつくることをめざし、様々な工夫を行いながら、年間を通して読書活動に取り組んでいます。そして、今年度も、図書担当の川原教諭を中心に、学校司書の山口美恵子先生のお借りしながら、朝の時間や国語の学習の時間等、計画的に読書の時間をつくるように心がけています。また、時折学校だよりでも、図書室前掲示板をご紹介しておりますように、地域の図書ボランティア「ゆめのか」さんにも、定期的な読み聞かせや図書室の環境整備にご協力いただき、子どもたちの読書意欲を高めるためにご尽力いただいています。

今年も、『秋の読書月間』期間中において「読書祭り」を企画し、子どもたちがより一層意欲的に読書を行うことをめざして、様々な取組を行っています。例えば、図書室で本を借りて「読書ビンゴ」に参加すると、くじを引いてしおりがもらえます。また、友だちに絵や文章でお気に入りの本を紹介する「読書紹介」を行うと、やはりくじを引くことができ、しおりをもらうことができます。そして、低・中学年は5冊、高学年は3冊の「家読書」を行い、家の人に一言書いてもらうと、やはりくじを引くことができるようになっています。このように、ご家庭とも協力も得ながら子どもたちの読書意欲を喚起し、少しでも本に親しむ機会を増やすことで、子どもたちの想像力や思考力を養い、心を耕すことをめざして様々な取組を行っているところです。そして、この取組は、吉井南小学校の伝統ともなっているように思います。

本日現在、子どもたちは既に全校で計 22,109 冊の本を読んでいます。この校内読書月間を機に、これからもたくさん子どもたちが図書室に足を運び、ご家庭においても進んで本を手にとって、読書に親しんでくれることを願っています。



<ブックカバーで作られたバック>

4年生が『佐世保市小学校音楽発表会』に参加しました。

18日(金)、アルカス佐世保大ホールにおいて、3年ぶりに『佐世保市小学校音楽発表会』が開催され、本校からは4年生が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、久しぶりの開催となりましたが、今年度は、「マスクをつけたままの歌唱」、「会場への関係者のみの入場」等、いくつかの感染防止のための制限を設けて実施されました。

4年生の子どもたちは、この日のために、音楽の時間はもちろん、朝の時間等を利用して一生懸命に練習を重ねてきました。発表会当日は、欠席者もなく、皆でこれまでの練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい歌唱を行うことができました。

滅多にできない貴重な体験ができた子どもたち。協力して大きな舞台をやり遂げた今回の経験を自信として、これからの学校生活の充実に生かしてくれるものと確信しています。

